

# 館山市広報

発行所 館山市役所  
館山市北条1.087番地  
電話 山本館 67.68.188  
分館 701.496番

### 3月の人口動態

人口数 61,471人  
出生 97人(男56・女41)  
死亡 67人(男37・女30)  
結婚 53件  
離婚 6件  
入籍 11件

## 歳入一億四千七百三十七万円

### 市長、32年度の施政方針を説明

長い間赤字に悩まされてきた本市の財政状況も、昨年からの合理的な財政再建政策と市民皆さんのご協力によって、この六月までに完全に赤字が解消できるという誠に明るい見通しが得られるようになりまして、ここに去る三月二十五日定例市議会を以て成立した、昭和三十三年の予算と市長の施政方針説明の概要を申し上げます。



市長 斎藤 隆

わが館山市は、さきに自主財政再建団体として発足して以来、29年度の発生赤字三千八十余万円解消のため各般の制約を受けながらも行政水準の低下をきたさないよう、私は部下職員と共に鋭意努力を尽してきました。幸にして市議会並びに市民各位の絶大なご協力を得て、30年度に一千六

百七十八万円で解消できたので、更に31年度の決算期までに、残り一千四百余万円を完全に解消して、それ以後は全く赤字のない健全財政の運営を企図している次第であります。

このように当市財政が漸く健全性確立の結に近づいたという事は、要するに再建計画の履行が皆さへのご協力と理解のもとに確実に実行された結果であり、誠に皆様と共に

このような実情と方針で編成した32年度予算総額は、二億四千七百三十七万円です。

なご市の市民一人当たりの税負担額は、全国平均より低い

七万八千円で前年度移動的経費を追加した六万六千円に、同様に市の財政規模はこの程度が限界を示すようです。

均を約三百円近くも下廻るもので、市長として市民の負担を充分考慮して課税の適正に努力して

地方交付税・国庫支出金等については極力この増

取に努力しますが、不確定財源を従らに見込み過ぎないよう十分配慮して計上した上で、交付税四千二百四十四万円・国庫支出金三千五百九十一万

## 32年度一般会計才入才出予算

科目	予算額	構成率
1. 市税	131,309,370	53.08%
2. 地方交付税	42,443,000	17.16
3. 公営企業及び入札料	5,675,770	2.29
4. 手数料	13,148,560	5.32
5. 国庫支出金	33,660,970	13.61
6. 県支出金	2,255,800	0.91
7. 寄附金	5,511,600	2.23
8. 繰越金	3,000,000	1.21
9. 繰入金	6,373,320	2.58
10. 雑収入	4,000,000	1.62
才入合計	247,378,390	100.00

科目	予算額	構成率
1. 議会費	6,537,010	2.64%
2. 市役所費	52,487,610	21.22
3. 消防費	16,752,570	6.77
4. 土木費	12,025,380	4.86
5. 都市計画費	8,503,500	3.44
6. 失業対策費	3,001,000	1.21
7. 教育費	59,059,550	23.87
8. 社会福祉費	32,617,410	13.19
9. 保健衛生費	6,063,770	2.45
10. 産業経済費	14,280,020	5.78
11. 財産管理費	2,479,580	1.00
12. 統計調査費	354,110	0.14
13. 選挙費	952,780	0.39
14. 公債費	9,846,300	3.98
15. 諸支出費	18,917,800	7.65
16. 予備費	3,500,000	1.41
才出合計	247,378,390	100.00

特別会計 公益質屋	10,330,300
特別会計 国民健康保険	33,113,104
国民健康保険 直診勘定	3,862,650

才出の主なものを申し上げると、直接市民に影響のある教育費・土木費・社会及び労働施設費・産業経済費・消防費等の順になっております。

教育費の五千九百五十万円が才出の最高を占め総額の24%に当っております。

市役所費は五千二百四十八万円で、才出予算総額の21%に当り内四千三百六十二万円は人件費であります。

都市形態における人件費の占める率は必ずしも高いものではありませんが、一般に行政の適正化に一層考慮し、一般財政上の均衡をうしなわ

が次の要領で税金・保険料等の出張徴収を行なうことになり、旧館野出張所へ徴収員が出張しますから、当日はお忘れなくご利用して納税下さるようお願いいたします。

## 才入

才入については本年度中に税制改正が見込まれております。

未確定のため、現時点では、市税の徴収率において極力全国平均を目標とし、市の調定見込額の85%を徴収するものとして一億三千二百三十万円を算入

## 才出

才出の主なものを申し上げると、直接市民に影響のある教育費・土木費・社会及び労働施設費・産業経済費・消防費等の順になっております。

教育行政の振興という事は、にわかにその実効が現れないのであります。

市役所費は五千二百四十八万円で、才出予算総額の21%に当り内四千三百六十二万円は人件費であります。

都市形態における人件費の占める率は必ずしも高いものではありませんが、一般に行政の適正化に一層考慮し、一般財政上の均衡をうしなわ

## 都市計画事業を推進 PTA負担の軽減

教育行政の振興という事は、にわかにその実効が現れないのであります。

市役所費は五千二百四十八万円で、才出予算総額の21%に当り内四千三百六十二万円は人件費であります。

都市形態における人件費の占める率は必ずしも高いものではありませんが、一般に行政の適正化に一層考慮し、一般財政上の均衡をうしなわ

が次の要領で税金・保険料等の出張徴収を行なうことになり、旧館野出張所へ徴収員が出張しますから、当日はお忘れなくご利用して納税下さるようお願いいたします。

この内本年度の主要な事業としては、都市計画の永久橋工事を計画し、予算上は一応二カ年計画としてありますが、建設省に対し極力補助の増額接衝を行つて、この増額接衝を以て、後半に本年中に完成される見込になつております。

策に重点をおいたためであり、そしてなお観光事業として南房総固定公園指定による、五カ年計画を取り入れ道路・公園の改修整備を図りたいと考え、当初予算にその準備経費を計上した次第であります。

## 市役所館野出張所

市役所の館野出張所が地元民のご理解とご協力を得て四月一日から閉鎖されました。

これは昨年の三月館野と那古船形地区の両出張所が廃止になった時と同様に、

出張所の機能は本庁に吸収し行政の簡素化を図るとともに一層能率向上に努め市民への奉仕に万全を期する事を目的として行われたもので、当初地元民の方々は多少の不自由を感じられる事があるかも知れませんが

動している職員がいろいろの用件をとりつくろつておられますので、どうぞご遠慮なく依頼して下さい。

税金と保険料の出張徴収日時

26日、月末の午前九時から午後四時まで  
②場所 旧館野出張所  
なお当日、納税組合長さんはご手数でも集計表ともにお届け下さるようお願いいたします。

## 四月一日から廃止

各納期月 25日

土木関係費は二千三百五十三万円であり、この土木事業については合併以来特に意を用い、ひとり市街地だけでなく村落地区の道路改修にも予算を振り付けております。

失業対策費は三百萬円で、ほとんどが道路整備事業であり、これによつて失業者救済を行うとともに、なお本年度は市内必要箇所の道路整備にも相当考慮しております。

社会及び労働施設費 社会及び労働施設費中生活保護費は二千二百五万円計上いたしました。

前年度の二千三百九十三万円より百八十七万円の減になつており、対象人員においては年間延千八百八十八人減少しております。

これは国家予算にもみられる現象で、保護家庭の再検討と神武以来の経済界の好況が反映した結果であり、今後とも雇用関係状況が好転して対象者が減少する事を期待しております。

### 五月天候豫想

高崎測候所 四月一日発表  
概況、月の前半は移動性高気圧が南進して連日晴れ、後半は低気圧の南進に伴って曇りや雨が多くなります。降水量は下旬前半頃強い低気圧が南下する見込みです。降水量は下旬前半頃強い低気圧が南下する見込みです。降水量は下旬前半頃強い低気圧が南下する見込みです。

## 保険料の納期と料金最高額の変更

- 第一期 = 4月1日～5月末日
- 第二期 = 6月1日～7月末日
- 第三期 = 8月1日～9月末日
- 第四期 = 10月1日～11月末日
- 第五期 = 12月1日～1月末日
- 第六期 = 2月1日～3月末日

従来保険料の最高額は一万円でしたが、三十二年分からは一万五千円となり、分たのでご協力下さるようお願いいたします。

この外に特別会計に属する公益質屋費一千三十三万円、国民健康保険費三千六百九十七万円が、並びに、

以上その概要を説明いたしました。各般の事業が円滑に実施されるためには、その要する財源の確保に万全を期します。同時に、総合的な市政の発展と福祉増進に寄与したい所存でありますので、市民各位のご協力を切にお願いする次第であります。

税金のため  
固定資産税  
第一期  
4月30日まで  
ためる貯金

経済変動の理論、吉田義三氏民事法律相談、商事法律相談、朝日新聞法律相談所、赤い壁の穴、中村百合子、芭蕉物語、那須辰造、自然草物語、松浦貞俊、挽歌、原田康子、故事、わさび辞典、中山泰昌、日記、文学、山岸徳平、独立の

経済変動の理論、吉田義三氏民事法律相談、商事法律相談、朝日新聞法律相談所、赤い壁の穴、中村百合子、芭蕉物語、那須辰造、自然草物語、松浦貞俊、挽歌、原田康子、故事、わさび辞典、中山泰昌、日記、文学、山岸徳平、独立の

経済変動の理論、吉田義三氏民事法律相談、商事法律相談、朝日新聞法律相談所、赤い壁の穴、中村百合子、芭蕉物語、那須辰造、自然草物語、松浦貞俊、挽歌、原田康子、故事、わさび辞典、中山泰昌、日記、文学、山岸徳平、独立の



